

ながさき県政出前講座（1年ふるさと探究）

7月7日（火）5・6校時に、長崎県庁土木部河川課・砂防課より、甲斐田知希様、荒井春樹様の2名をお招きし、「河川の防災対策について ～水害に備えて～」をテーマに、講義とグループワークの2部構成による講座を実施しました。



講義では、過去に長崎県内で発生した大規模な水害の被害状況や、その後の復旧・復興の取組について学びました。また、学校周辺のハザードマップの見方や、ARを活用した土砂災害警戒区域等確認システムについても教えていただきました。さらに、水位が上昇してから避難を開始したことで、水路が見えなくなり事故につながった事例を通して、警戒レベルを踏まえた早めの避難行動の重要性について理解を深めることができました。

グループワークでは、災害発生時を想定した避難判断ゲームに取り組み、状況に応じた適切な避難行動について考えました。また、平常時からの備えの大切さや、地域で助け合う「共助」の重要性についても学ぶことができました。

今回の学びを基盤として、今後のふるさと探究活動に活かしていきます。